

ゆきどけ

インターネットでこんなこと、
していませんか？

インターネット
とくしゅうごう
特集号

チェック
Checkしてみよう

- 自分の個人情報^{じぶん こじんじょうほう}を安易^{あんい}に書き込んでいませんか？
- 嘘^{うそ}や不確かな情報^{ふたし じょうほう}を書き込んでいませんか？
- 他人^{たにん}の写真^{しゃしん}や情報^{じょうほう}を無断^{むだん}で掲載^{けいさい}していませんか？
- 匿名性^{とくめいせい}を利用して、相手^{りょう}を傷つける書き込み^{あいて きず}をしていませんか？

だいじょうぶ
あなたは大丈夫ですか？

かんが じんけん
～考えよう！インターネットと人権～

インターネットは、私たちの生活を豊かにしてくれる大変便利なツールです。知りたい情報が誰でも簡単に手に入り、世界中の人と交流できるなど、使い方は無限に広がっています。しかし、使い方を間違えると、誰かを傷つけたり、犯罪に巻き込まれてしまう危険性があります。今一度、インターネットについて考えてみましょう。

インターネットによる人権侵害の現状や特徴



・加害の容易性

誰でも簡単に書き込みができます。また、デジタルデータであるため、コピーや画像の合成も簡単に出来ます。



・被害回復の困難性

情報の発信者・サイト管理者が特定できない場合が多く、削除が困難である上、元データがコピーされて、あらゆる所に広がります。



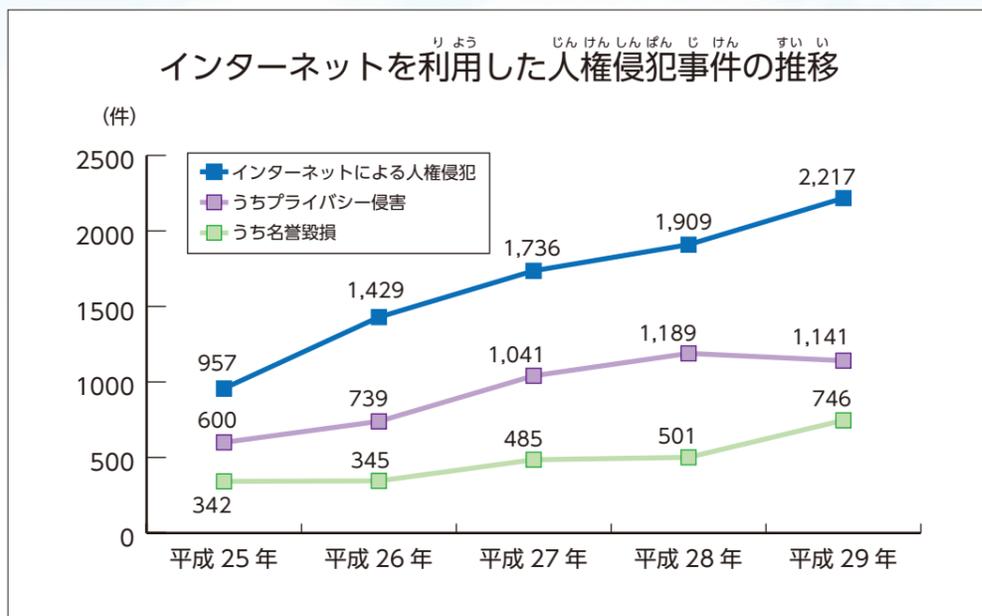
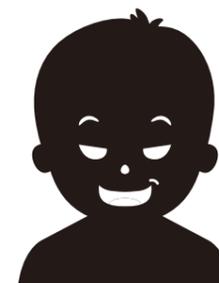
・被害の拡散性

いったんインターネット上に掲載されると、世界中から閲覧可能になります。また、内容が別サイトに次々とコピー・転載され、短期間に大量のデータが世界中に広がります。



・匿名性

匿名での書き込みが可能のため、内容が悪質なものになりやすく、被害者が加害者を特定することが困難であり、被害者の精神的な不安や負担が大きくなります。



※引用元 法務省ホームページ「インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう」

法務省の調べでは、平成 29 年中に全国で新たに救済手続を開始したインターネット上の人権侵害事件は 2,217 件で、過去最高の件数を記録しています。使い方を誤ると大変なことになるのも、インターネットなのです。これからの時代は、今まで以上にインターネットについて学習し、考えることが必要になっています。

インターネット上でトラブルになる事例

ケース

1 ※SNSや掲示板に写真を投稿したことによって...



同僚が職場で撮った写真をブログに載せたことによって私の個人情報が特定されてしまいました。

GPS(位置情報)機能をONにしていると、撮影場所の情報を写真から読み取ることができます。よく行く場所が特定されてストーカー被害など危険な目にあう可能性もあります。写真を撮影する時はGPS機能をOFFにしましょう。一度インターネット上に載せてしまうと、情報があつという間に広がってしまい、簡単に削除することができなくなります。インターネット上に載せる前には本当に掲載していいものか、考えましょう。

ケース

3 そんなつもりじゃなかったのに... SNSがきっかけで仲間はずれにされてしまいました。



〇〇さんの今日の髪型かわいくない

仲よし数人でやっていくグループトーク

うっかり書き込みの最後に「？」を付け忘れてしまい、そのままお風呂に入りました。

お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい!」と誤解されました。誤解を解こうとしたけれど、反応がありませんでした。私以外で新たに別のグループを作り一人だけ会話に入っていけなくなり、仲よしグループから外されてしまいました。

ケース

2 SNSでは顔が見えない相手だけれど... 趣味が合うことで意気投合。友達になれると思ったら



今度一緒にコンサートに行かない?

今度の日曜日会場で待ち合わせしよう

OK!

インターネットの中では年齢や性別などを簡単に偽ることができてしまいます。

SNSで楽しい会話をしているうちに、会う約束をしてしまいました。

相手が顔写真を出しているからといって、安心して実際に会ってしまうと、そこには、危険なことがおきてしまうかもしれません。性犯罪やストーカーの被害につながっていくかもしれません。

ケース

4 インターネットで、手軽にいろいろな商品の買い物が出来て便利だけれど...



すてきな服が安く買えるサイトがあったわ

初めて見かけるサイトだから大丈夫だろう

お金を振り込んだ後、商品を発送するとのことだったが、代金を支払いしたにもかかわらず、商品が届きませんでした。サイトに何度メールをしても返事が返ってこないの、サイトに記載されていた番号に電話をしてみると、その電話番号は使われていませんでした。

インターネット被害から自分を守るために

最近では、SNSや無料通信アプリによるトラブルが発生しており、深刻な事件につながることもあります。日頃から、インターネット上での情報収集や情報発信には責任を持ち、怪しいサイトにはアクセスしないなど、自分から危険に近づかないようにすることが大切です。

- ワンクリック請求書など、不当な請求には絶対に料金を払わない!
- 安易に自分の写真や個人情報を書き込まない!
- 怪しいサイトで買い物はしない!

インターネットで相手を傷つけないために

インターネットの向こう側にも、あなたと同じ人間がいます。顔が見えないからこそ、相手の人権を尊重することを忘れず、配慮を持ってインターネットを利用することが大切です。インターネット上の書き込み、情報発信には責任が伴います。

責任をもってインターネットを利用しましょう。

- 他人の悪口や差別的な内容は書き込まない!
- 人が写っている写真や動画を安易に載せない!
- 雑誌や書籍の情報を勝手に載せない!
- 他人の個人情報を勝手に書き込まない!



子どもたちを守るために

1 子どもには「フィルタリング」をしっかりする!

「フィルタリング」とは、パソコンやスマートフォンを使って、インターネット上のさまざまなサイトへアクセスするときに、違法・有害サイト等の閲覧を制限することができる仕組みです。「フィルタリング」を設定しても、違法・有害サイト以外は利用することができます。携帯電話会社やパソコンメーカー等が、青少年の年齢に適した「フィルタリング」サービスを提供していますので、犯罪やトラブルに巻き込まれないためにも、必ず利用しましょう。



2 家庭でのルールを作る

スマートフォンやパソコンを一日中手放せず、勉強や仕事がおろそかになったり、睡眠不足になるなどいわゆる「インターネット依存」に陥ることがあります。様々なインターネットトラブルに巻き込まれないためにも、家庭の中でルールを作ることが重要です。

(ルールの例)

- 困った時はすぐに相談する
- 友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない
- インターネットを使わない人を仲間はずれにしない
- 利用する場所や時間帯を決める
- パスワードは保護者が管理する
- お金がかかる場合は事前に相談する
- 名前、顔写真、学校名などは書き込まない
- 知らない人のメールに返信しない
- ルールを破ったら、一時利用禁止にする

知っていますか? インターネットリテラシー

インターネットリテラシーとは、情報ネットワークを正しく利用することができる能力のことです。リテラシーとは、もともとは識字能力のことで、文字や言語に対する能力の意味です。インターネット上の情報の正確性を読み取り、情報の取捨選択や適切な対応ができること、プライバシー保護やセキュリティ対策を考えられることを指しています。

また、インターネットリテラシーが不足したままインターネットを利用していると、プライバシーの侵害や個人情報の流出、著作権や肖像権の侵害、コンピュータ・ウイルス感染による迷惑メール送付行為など、自らが被害を受けるだけでなく、故意でなくとも加害者になる可能性があります。

もし誹謗中傷などの被害にあってしまったら



法務局ではプロバイダ※への発信者情報の開示請求や、人権侵害情報の削除依頼の方法について助言を行うなど、被害者自らが被害を回復・予防を図るための手助けをします。

- **みんなの人権110番** ● (インターネットについての人権相談も受け付けています)
- 0570-003-110** (最寄りの法務局につながります)

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

法務省「平成30年度」啓発活動強調事項

- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者の人権を守ろう
- 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- 部落差別等の同和問題に関する偏見や差別をなくそう
- アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見や差別をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう



人権イメージキャラクター
人KENまる君



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- 性的指向を理由とする偏見や差別をなくそう
- 性自認を理由とする偏見や差別をなくそう
- 人身取引をなくそう
- 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう

語句説明

- ※ リベンジポルノ…元交際相手や配偶者が相手から拒否されたことの仕返しに相手の性的な画像や動画をインターネット上に公開する行為です。
- ※ SNS…Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略で、ソーシャル（社会的な）ネットワーキング（繋がり）を提供するサービス、という意味になります。インターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン・パソコン用のWebサービスの総称です。SNSは数多くありますが、例えば、LINE、Facebook、Instagram等がよく使用されています。古くはブログや電子掲示板でもそうした機能の一部は実現できていましたが、SNSでは特に「情報の発信・共有・拡散」といった機能に重きを置いているのが特徴です。
- ※ プロバイダ…インターネットに接続するための通信手段を提供する業者